



特集

踏み出そう 学びの一步

後編

Lesson

CHECK!



佐賀新聞文化センター 子ども教育紹介

めばえ教室

東田 留美子先生



- あゆみ (1歳児)
- プレめばえ (2歳児)
- めばえ (3歳児)
- ふたば (4歳児)
- わかば (5歳児)
- あおば (小学1年生)
- きらめき (小学2年生)
- 小学校準備コース

(わかば受講者のみ)

※各コースの曜日・時間はお問い合わせください

TEL 0952-25-1464

1979年に東京で誕生した「めばえ教室」が佐賀で開講したのは、その6年後の1985年で、ことし40周年の節目を迎えます。1歳児〜小学低学年が対象で、年齢ごとに7つのクラスがありますが、「どのクラスも、そのお子さんがこれから経験することをちよっぴり先取りしています。年長さんなら、小学1年上がった時に必ず役に立ちます」。この魅力を語るには、めばえ教室佐賀教室のインストラクターで指導歴20年の東田留美子先生です。

教室では、独自の教材を使って楽しく遊びながら、将来の学習の基礎となる思考力や自主性、集中力、創造性を育てていきます。例えば1歳児クラスでは、実際に手で触ったり、目や耳からの刺激を受けながら形や色などを覚え、言葉の数も増やしていきます。2歳児以上については入室の時、いまだぐらいい興味や経験があるかを図るIOTテストを実施。1年間ですぐにだけ力が付いたのか、成長の素晴らしさとともに実感することが出来ます。

ゲームやスマホが全盛ですが、「めばえの教材を親子のコミュニケーションツールとしてぜひ使ってください」と東田先生。少し苦労したとしても、時間をかけコツコツ積み重ねて身に付けた学びは決して消えることはありません。

わかばコースの年長さんの多くが同時に通われているのは、佐賀大学附属小の受験対策コースです。1年間かけてしっかり準備し、2024年度入試では、めばえ教室佐賀教室から17人が最終合格を果たしました。毎年9月〜12月には、月1回ペースで附属小受験対策のテスト会も実施しています。

み

なさんは、佐賀市白山の複合施設「エスプラッツ」が子ども教育の拠点になっていることをご存知でしょうか。佐賀新聞文化センターが運営する2階キッズスペースでは、「めばえ教室」や「ステップワールド英語スクール」などたくさんのお教室が開かれています。春は新しいことを始めるのにぴったりの季節です。自分磨きのチャレンジとして、学びの一步を踏み出してみませんか。

子どもの健やかな成長は、家族にとって何ものにも代えがたい喜びでしょう。よく知られていることですが、特定の学習分野においては、その習得に適した年齢（臨界期、敏感期）があることが、脳科学的に判明しています。例えば、数字を認識できるようになる幼児期から「そろばん」を始めると、右脳が鍛えられ、数字に強くなるだけでなく、記憶力なども大きく向上します。

とはいえ、嫌々ながら始めるのでは効果は上がりません。始めるにあたってはタイミングを図ることも大切です。「〇〇が大好き。ずっと続けたい」という思いを育むことができれば、それだけ学びは深まっていくでしょう。

佐賀新聞文化センターで子ども教育を担当されている先生方は実力者ぞろいです。今回の特集では、それぞれの教室の魅力をご紹介します。※24〜28ページの教室案内も参照ください。

株式会社 Sagashibun Bunka Center
佐賀新聞文化センター

キッズスペース
TEL 0952-25-2151



講座一覧はHPから！

佐賀新聞文化センター





そろばん教室 橋本 恵子先生

国珠算教育連盟が主催しているそろばんの検定試験です。15級から始まり、最高位10段まであります。2カ月に1回、試験がありますが、子どもたちは習熟に応じて積極的に昇級・昇段にチャレンジしています。中には小学生のうちから3段、4段まで到達する子どもさんもおり、あこがれの先輩たちに近づきたいという思いが、やる気の持続につながっているそうです。

教室は週2回で、橋本先生は水曜日を担当されています。

そろばん教室

※週2回コース

水曜 16:30~17:30 / 17:30~18:30

土曜 14:30~15:30 / 15:30~16:30
16:30~17:30

TEL 0952-25-2151

子どもの時に身に付けなければならぬものはたくさんありますが、日常生活や学習に欠かせない「計算力」もその一つです。「そろばんは、自分の目の前で珠をはじきながら、計算力の基礎となる10進法をしっかり学ぶことができます。」こうアピールするのは、佐賀新聞文化センターで「そろばん教室」を担当している橋本恵子先生です。

電子計算機が普及し、AI（人工知能）が問題解決に活用されている時代ですが、そんな中でも、そろばんは子どもが習い事として高い人気を誇っています。それは幼い頃から右脳を鍛えることで、計算力だけでなく集中力や記憶力が高まり、さらに発想力やひらめき力が身に付くなど、さまざまな効果があることが科学的に分かっているからです。

教室は基本1時間です。子どもたちは最初に暗算にチャレンジし、それからそろばんへ。タイマーで時間を区切りながら、足し算、引き算、掛け算、割り算の練習問題に集中して取り組んでいきます。橋本先生は子どもたちに寄り添い、「すごいね。満点だよ」「よし、頑張ろう」と絶妙なタイミングで声掛けし、やる気を引き出されています。帰る前には、パソコンを使ったフラッシュ暗算にも取り組んでいます。

子どもたちが目標にしているのは、全



ステップワールド英語スクール
村山 智昭先生

「ステップワールド英語スクールは、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく学ぶのにぴったりです。目標の英検合格にもしっかりとつながります。こう話すのは、佐賀新聞文化センター教室の人気講師、村山智昭先生です。ステップワールドは、英語辞書や受験参考書の出版で知られる「旺文社」の創業者・赤尾好夫さんが1973年に始められた半世紀以上の歴史を誇る英語スクールです。幼児から高校レベルまでの一貫教育で、教材と教育手法を改良し続けており、その名の通り、段階を踏みながら英語力を着実に高めていくことができます。

幼児は英検5級の単語や表現に触れ、フォニックスで正しい発音と文字の関係性を知ることからスタート。小学生は、聞く・話す・読む・書くの4技能を総合的に活用できる能力を高め、英検5級から3級を目指します。中学・高校生はさらに学んで英検3級から1級を目指していきます。

教室をお訪ねした日は、英検1級に挑戦中の中学3年生が村山先生からレッスンを受けられていました。確かな信頼関係があるからでしょう。真剣な中にもとても和やかな雰囲気です。「英語に限ったことではありませんが、楽しんで学ぶのが一番です。コツコツ続けることで力になります」と村山先生。中学3年生は英検3級程度が一般的ですから、この生徒さんはとても速い習熟です。小学6年生で3級に合格した教え子もいらっしゃるそうです。

ステップワールドの先生は、熟練の実力者そろいです。別の日にお訪ねした小学低学年向けの教室では、映像や音声、本やカード、ゲームなど、子どもたちの周辺にできるだけ多くのアイテムをそろえることで、子どもたちの興味を引き出されています。

英検受験に向けては通常のレッスンに加え、対策コースもあります。ネイティブの先生との英会話レッスン「オーラル」クラスも実施しています。





STEP WORLD
ステップワールド英語スクール

マーブルパピー (3歳~年長児)
マーブルキッズ (小学1~2年)
プライマリーA、B (小学3~4年)
プライマリーC (小学5~6年)
グラマー・フォー・コミュニケーション (中学1~3年)

※各コースの曜日・時間はお問い合わせください

TEL 0952-25-2191



IoT × AI プログラミング専門スクール Swimmy

プログラミングは、子どもや親からいま最も関心を集めている習い事の一つです。佐賀県内にも続々と教室が誕生していますが、開校4年目に入った「Swimmy 佐賀新聞文化センター校」の一番の強みは、個別指導を徹底しているところです。20代の若い先生たちが子どもに寄り添い、その子のスピードで楽しみながら学びを深めてもらっています。

教室は1回1時間で、タブレットの画面の中の世界にとどまらず、さまざまなセンサーと身の回りにあるものを組み合わせて、子どもたちの自由な発想やアイデアを引き出します。先生から習うというより、自分の気づきでどんどん実践しながらプログラミングの基本や応用を身に付けるといった感じ。「個別指導だから、会話が多くなります。その子の興味関心に寄り添えます」。講師の一人、原田先生はこう魅力を語ります。

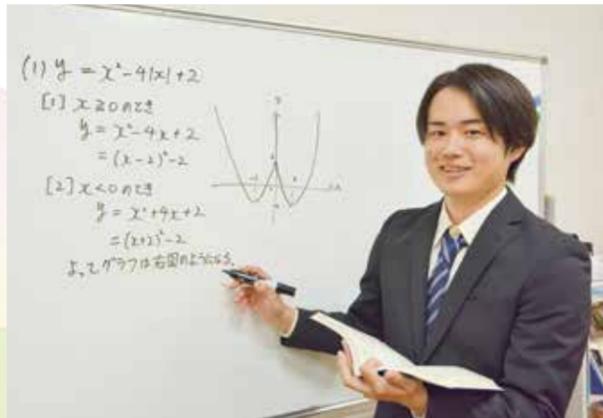
教材にはソニーが開発したMESSI(メッシ)や、自分が描いた絵がゲームになるSpringin(スプリング)などを使っています。4月末まで入会金無料キャンペーンを実施中です。



平日 16:30 ~ 17:30
17:45 ~ 18:45

土・日曜 10:00 ~ 11:00
11:15 ~ 12:15
13:30 ~ 14:30
14:45 ~ 15:45
16:00 ~ 17:00

TEL 0952-25-2151



地域密着 No.1 寺子屋塾 プロGRESS

成績アップ、志望校合格に向け、学習塾人気が続いています。その多くは授業形式が基本ですが、「プロGRESS」はそれは一線を画しています。通いたい人は平日なら何回でも通うことができ、月謝は固定で1万1千円(税込み)です。

「勉強は教えられることも大事ですが、自分から率先して勉強する習慣を身に付けることが何より大切です。プロGRESSには毎日通って来られている生徒さんいます」。講師の一人、大山先生はこう語ります。

先生方は全員、佐賀大学医学部の現役学生さんです。生徒たちは教科書や参考書、宿題などを持参。いますぐ知りたいところ、解決したいところを先生に質問します。「勉強は質と量」と言われますが、勉強していく中で大事なのは、まずは質よりも量です。量をこなしていかなないと質は上がりません。勉強に取り組んでいくからこそ、質の上げ方もある程度分かってきます」と大山先生。プロGRESSでは、その手助けを受けられます。事前の電話予約で3回まで無料体験ができます。



月～金(土・日・祝日は休み)
17:30 ~ 21:30

TEL 0952-25-2151



こども書道・こども硬筆 龍 ゆかり先生

龍先生が心掛けているのは、その子のいいところを見つけて褒めてあげることです。「よく書けていますよ」「墨のつけ方が上手になったね」などと声を掛けると、子どもたちの笑顔が広がります。その後、直したほうがいい部分をアドバイスされています。

書道は日本の伝統文化です。「教室に通う中で、きちんとしたあいさつや礼儀も身に付けてくれたら」と龍先生。熱心に練習を続けることで、自尊心や集中力も養われます。

「4月、5月は無料体験を実施中です。みんなで一生懸命練習していますので、ぜひのぞきにきてください」と呼び掛けます。



「流れるようにきれいな文字を書けるようになってほしい」。いまの世の中、パソコンやスマホが普及して文字を書く機会が減っていますが、わが子の健やかな成長を願い、そんな思いを抱かれています。佐賀新聞文化センターの人気講師、龍ゆかり先生の「こども書道・こども硬筆」は、主に幼児から中学生までが対象で、そうした夢をかなえてくれる教室です。

龍先生が書道を始められたのは、小学校に入る少し前で、母親から自宅近くの書道教室を勧められたのがきっかけだったそうです。学生時代はコンクールでの入賞も励みとなり、練習に没頭。若くして漢字、かな、条幅の三つの師範の免状を取得されました。講師歴20年、文化センターで教えるようになってからは15年で、ご自身は佐賀県書道展や佐賀県書作家協会展などで入賞を重ねられています。

教室は真剣な中にも穏やかな雰囲気です。子どもたちは、筆を水や墨汁に浸して柔らかくした後、新聞紙に縦線、横線などを書き、心の準備も整えてから本格的な練習に入っていきます。きれいな半紙に勢いよく筆を走らせ、納得のいく一枚を書き上げることに先生のところに行き添削を受けます。



毛筆コース(小学生以上) / 硬筆コース(幼児以上)
土曜日 9:30 ~ 12:30 の間で1時間 ~ 1時間半

TEL 0952-25-2151